

退職者会ニュース

第2022-7号
22年8月15日
退職者会
編集委員会
3221-0052



ウクライナのひまわり
残暑お見舞い申し上げます

75歳以上の医療費の窓口負担2割化の中止を求めて署名にとりくみます

昨年6月、国会で75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決されました。この10月からの実施が想定されています。75歳以上で年収200万円以上の人が対象となります。退職者会は中止を求め署名にとりくみます。

安倍元首相「国葬」反対！ 8・31国会正門前大行動

8月31日(水) 午後6時～
場所：国会議事堂正門前
退職者会の集合：午後5時30分
地下鉄永田町駅2番出口(地上)

改憲発議と大軍拡やめろ！ さようなら戦争さようなら原発 9・19大集会

9月19日(月・休) 午後1時30分～
場所：代々木公園B地区
退職者会の集合：午後1時00分
代々木公園内歩道橋下
主催はいずれも「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」他

どうなる？ 参院選後の日本と 私たちの暮らし

1 現実になった憲法改悪と日本の将来

7月10日に行われた参議院選挙、その結果はこれからの日本の行く末にどんな影響をもたらすのだろうか？また私たちの暮らしはどのようなものになるのだろうか？退職者会ニュース編集部で検討した結果は、暮らしと平和にとって極めて深刻な事態が浮かび上がってきました。一言でいえば、「国民の暮らしや社会保障を壊し、軍事大国(軍事費世界3位)となつて、戦争をする国として歩むのか？」という問題です。以下、その内容の概要です。

2 軍事費1兆円で暮らしはどうなる

憲法改悪とともに軍事費の拡大が進められようとしています。自民党は選挙公約で「GDP比目標(2%以上)を5年以内に、防衛力の抜本的強化に必要な予算水準の達成をめざす」としており、その額は現在の約2倍の1兆円になります。政府は7月29日の臨時閣議で、各省庁が2023年度当初予算を財務省に要求する際の基本方針(概算要求基準)を了解しました。歳出抑制を求めるなかで、岸田首相が「相当な増額」を国際公約する防衛費については一貫線にすすむ状況にないと報道されています。その背景には、共同通信の7月11、12日の世論調査で改憲を「急ぐ必要はない」が58・4%に上り、参院選の投票で最も重視したのが「物価高対策・経済政策」42・6%だったのに対し、改憲は5・6%にとどまったように、多くの国民が性急な改憲を求めないことがあるのです。今こそ9条改憲NOの声を広めていくことが大切になっていきます。

幅な増額が予想されます。軍事費2倍化が必要となる5兆円を超える新たな財源をどのように調達するかは未だ明らかになっていませんが、消費税の増額か、社会保障の大幅削減か、あるいは国債の乱発か、いずれにしても物価高騰とコロナで苦しむ国民に大きな負担が押し付けられることは疑いありません。(次ページへ続く)

程感を共有していくことが大切だ」と同調するなど改憲原案の作成、憲法審査会への提出、議論が進められようとしています。

安民法制化での9条改憲は「集団的自由権が行使できる自衛隊の肯定」となり、海外での武力行使が自由化されてしまうことになりま

す。まさに日本を「軍事対軍事」の危険な道に引き込むかどうかの分かれ道に立たされているのです。

一方で、4党間では改憲内容や姿勢に隔たりがあり

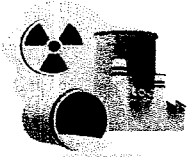
(前ページからの続き)

3 日本を崩壊に導きかねない原発再稼働

岸田首相は7月14日の記者会見で、冬場には今夏以上に電力の需給が逼迫するとの口実で、最大9基の原発を稼働させる方針を表明しました。これはまるで福島原発事故などなかったかのような態度で到底認めることはできません。原発の事故はいまだ収束してはいません。故郷に帰れない多くの人々、日々増加を続ける汚染水、廃炉に向けた作業は遅々として進んでいません。

東京地裁は損害賠償訴訟の中で、原発事故は「我が国そのものの崩壊につながるかねない」と危険性を指摘しています。さらに今、事故だけでなく、岸田政権が軍備大拡大、憲法改悪で「戦争する国」への「変身」を図る中で、無防備な原発を抱える国が攻撃を受けた際の危険性が、ウクライナでの戦争を通じて明らかになっていきます。

さらに、政権の原発再稼働への執着が、再生可能エネルギーの普及にとっても障害となつていきます。昨今の異常気



原発事故イメージ

象に見られる気候変動の危機を打開するための方策として再生可能エネルギーを大規模に拡大することは、災害から住民の命や財産を守るだけでなく、地球規模での人類の生存に関わる緊急課題の一つです。

日本を崩壊に導きかねない原発再稼働反対と気候変動危機打開の声を今こそ高めて、取り組みを進めなければなりません。

新任の役員からのメッセージ

前号に続き、新副会長の櫻井和恵さん、新幹事の近藤次子さんからのメッセージをお届けします。



櫻井副会長

退職者会幹事をお引き受けし10年を超えましたが、私にとつての退職者会は元気の源かもし

6月17日に行われた2022年度退職者会総会において副会長を務めさせていただくことになりました。副会長という責任ある仕事を務まるのか不安もありますが、藤本新会長をはじめ役員、幹事のみな様と共に楽しく元氣な、そして声を挙げ行動する退職者会に、微力ながら頑張っていきたいと思ひます。

副会長をお引き受けして

櫻井和恵

長引くコロナ禍で退職者会の交流や活動が制限されています。まだまだこの状況は続きそうですが、こうした中でも活動を工夫し、会員の皆様との交流や情報交換ができればと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

皆さま、こんにちは。新しく役員になりました近藤次子です。

新型コロナウイルスが蔓延しておりますが、充分注意をして頑張りましょう。

私は、これから生きていく中で優先することは、心身ともに健康であることが一番だと思ひつています。そのために、食事、運動、社会参加等を心掛けています。

食事は毎日、栄養のバランス(特にたんぱく質)を考慮し、時にはプランターで作った野菜も使ったり、時には手作り弁当を部屋で食べたりもしています。

一日の終わりに、睡眠を促すストレッチを行い、少なくとも7時間睡眠を心掛けています。

新しく役員になった近藤次子です

自己紹介に代えて近況と私の思い

この頃、上野動物園、不忍池付近、または、墨田川遊歩道をウォーキングしています。図書館、生涯生活センターにも寄り、いろいろな情報を収集し生活に役立てる等、頑張っています。

先日散歩中、普段は中学校の正門の方のみを通つていましたが、時間があつたので反対側に向かうと、プランコ、鉄棒等があり、公園かと思つたらさらにその奥に小さな神社、灯籠、太鼓橋があり、その先の滝から神社の方まで優雅に水が流れ、水墨画の世界にずっと浸り、心が癒されました。これからもいろいろな街並



最近思うこと

森友、加計問題、桜を見る会等、何一つ解決しないまま亡くなられた方の国葬はいかがなことかと思ひます。国として他にやることはたくさんあるでしょう。

また、世界中の新型コロナウイルス感染者の21%が、日本の感染者であるとの記事を読みました。どうして国は対策を取らないのか、歯がゆい思ひです。

さらに、原発事故の避難者らが損害賠償を求めた裁判で、国の責任を認めなかった最高裁の判決は、福島出身者として許しがたいです。

安倍元首相の「国葬」について、幹事会は左記の声明で反対を表明します。

退職者会は、

安倍元首相の国葬に反対します (声明)

千代田区職労退職者会幹事会

退職者会は、安倍元首相の国葬に反対です。

その理由の第一は、「国葬」の歴史のかつ法的な問題に疑義があるからです。「国葬」は戦前、「国葬令」に基づき天皇制専制国家を支える儀式として行われてきました。戦後の天皇制の崩壊とともに現行憲法に不適合として失効し、今回行おうとしている「国葬」に法的な根拠はありません。

戦後、唯一行われた吉田茂元首相の国葬に関しても、根拠になる法律がないため国民の間に物議をかもしました。佐藤栄作元首相に關し国葬の実施が検討された際も、法的な根拠がないことを理由に見送られています。

以上のような経緯があるもとで、岸田首相は閣議決定があればできるとの独断的な解釈を持ち出していますが、このことこそ恣意的な判断で、結局政治的な思惑が丸見えとなっています。その思惑の一番の問題は、安倍路線を継承することと表明している岸田政権にとって、国民からの批判が強い数々の負の問題を、「国葬」という仕掛

けによって無かったかの如く装い、岸田政権への支持を演出することにあります。人の死を政治利用することは、許されることではありません。

第二に、「国葬」は安倍氏の行った政治を全面的に賛美する場となることは確実で、国民の間で賛否の分かれる安倍政治に一方的な評価を与えることになりません。

安倍政治をめぐっては、アベノミクスと呼んだ経済政策においても、多くの法律家から憲法違反を指摘された集団的自衛権容認、「安保法制」の強行やアメリカ製の軍事装備品の爆買といった防衛面においても、特定秘密保護法や共謀罪の強行といった民主主義の問題においても、森・加計・桜と言われる政治の私物化といった問題でも、多くの国民の反発と疑惑を招きました。

とりわけ年金カット法など年金削減につながる一連の施策、医療介護などの社会保障の改悪など、私たち高齢者にとっては生死にかかわる諸改悪をすすめました。私

たち退職者会は「安倍政治を許さない」というプラカードを掲げて、何度国会前で抗議行動を重ねたことでしょう。その記憶はまだまだ生々しく残っています。このような安倍氏の行ってきた悪政を一切無かったことのように飾り立て、国民に礼賛を事実上強要する「国葬」を認めることはできません。

第三に、評価の分かれる安倍氏の「業績」を、一方的に肯定し礼賛することによって国民の間に亀裂や分断を生じさせ、さらに政府による保守的メディアを総動員した賛美宣伝と反対世論の封じ込め、教育現場などでの弔意の強制、自治体による弔旗掲揚や記帳台の設置、職場や街頭での黙とうなどの事態が予想されます。こうした事実上の弔意の強要は、憲法に保障された個人の内心の自由を侵害することに繋がります。

各種の世論調査ではいざいずれも、安倍元首相の「国葬」に反対する人が賛成の人を上回っており、50%以上を示しているものも多くあります。もし、多数の国民の反対を押し切って実行されれば、国費(税金)の恣意的支出という批判を免れません。

退職者会は以上から、安倍元首相の「国葬」に強く反対します。2022年8月

コロナ禍の夏の過ごし方

西本 由起子

コロナ第7波の下でも、私は、こんなふうに夏を楽しみたいと思っています。

ワクチン3回接種、4回目も予約しました。実家にお墓参りも兼ねて行く計画をしました。そんな時に第7波・・・でもお墓参り行こうと思います。

夏を楽しむすべ方法がある訳ではありません。出精をやめることにしました。暑いし、コロナ

だしと外に出るのをやめていましたが、対策をして出かけようと思えます。夏対策として、後だれのある帽子を買いました。飛ばないように紐を付けています。

ました。腕カバーもUVカットにしました。夏スカーフ、たくさんあるので使うことにしました。

スカーフもおしゃれな結び方があります。日焼け防止になる上着もいいですね。

忘れてはいけないマスク、色も形もたくさんあります。夏対策とコロナ対策して、近くでショッピングやお茶、散歩などを楽しもうと思っています。

今日はどのアイテムにしようか？どの色にしようか？それを考えるのも楽しいと思っています。



ウクライナ支援募金

ご協力ありがとうございました

ウクライナ支援募金へのご協力ありがとうございました。18人の方が合計8万2000円の募金をお寄せいただきました。千代田区職労を通じて国連難民高等弁務官事務所に届けます。会員の皆様のご支援とウクライナ侵略の早い終息を願ってお気持ちが必要です。ありがとうございます。

知っ得

持病の治療や診察のために、定期的に病院に通院して薬を処方してもらっている人は多いと思います。予約した診察日の前に薬を切らしてしまったことはありませんか。薬の処方だけしてもらおうと病院へ行ってもできません。「薬を処方してもらうために、診察を受けなければならず、面倒だった」という経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。

日本では、医師法の規

定によって、医師の診察を受けずに薬を処方してもらうことができません。これまで患者は薬が切れると、病院を受診して処方箋をもらう必要があります。「お薬再診」というそう

リフィル処方箋

です。「お薬再診」のために、交通費と時間をかけ、診療費も支払うというのはたしかに非効率です。4月から使えるようにとところが4月から、一

に発行が認められます。処方箋の「リフィル可」の欄にチェックが入った処方箋を薬局に出せば、最大3回まで薬が受け取れます。期限は最長90日です。あらかじめ「リフィル可」の処方箋が必要になります。要なので、急に薬が必要になったからといってもできないのでご注意ください。便利になったと思われる半面、問題があります。受診頻度が減ることで症状の悪化を見逃すリスクが高くなります。病院側にとつては、受診回数が減ることで経営的にマイナスになります。そのため、医師がリフィル処方箋を出してくれないという声です。リフィル処方箋を出してもらおうと思ったときは、医師とよく相談する必要があります。

それぞれ名前があり、火をともした後できあがる火の玉から短い花火が始まるまでが「牡丹」、勢いよく花火が四散する頃が「松葉」、次第に花火が弱まり火の玉が大きくなる「柳」、最後の力をふり絞るように一瞬だけ光と花火が強まる「散り菊」、これが抒情的な線香花火の一生だそうです。周囲の安全に気を付け楽しんでみては。

脳トシ 難読漢字 夏の風物詩

何と読みますか？ (答えは3ページ)

1. 蚊帳
2. 百日紅
3. 向日葵
4. 団扇
5. 西瓜
6. 糸瓜
7. 鬼灯
8. 簾
9. 飛蝗
10. 陸蓮根



節約・簡単レシピ

切り干し大根のサラダ

買ってもしまい忘れそうな切り干し大根。煮物だけでなく、この暑い時期はサラダでも美味しくたべることができます。作り方はいたって簡単。火も使わないので暑い時期にぴったりです。

<材料> 2~3人分

- 切り干し大根 15g (2分の1袋)
- きゅうり 1本
- ちくわ 1本
- (好みで蟹かまでもOK)
- ドレッシング マヨネーズ 大さじ2杯
- 味ポン 大さじ1杯



<作り方>

- ① 切り干し大根は洗って15分ほど水に戻し、絞っておく。
- ② きゅうりは千切り・ちくわは縦半分に切り細切り
- ③ ドレッシングに材料を入れ軽く混ぜ合わせ出来上がり。

好みで仕上げに黒コショウを振っても美味しいです。
※ドレッシングのマヨネーズと味ポンはお好みで加減してください。

幹事会から

8月12日に、総会后2回目の幹事会を予定していましたが、コロナ感染第7波が急拡大のため、やむなく延期しました。次の予定は立っていません。

8月・葉月

旧暦の8月は現在の9月頃で季節は秋です。諸説ありますが秋で「葉が落ちる月」が「葉落ち月」になり「葉月」となった説が有力です。

8月は、暑さの中でも夏休みや家族旅行、花火大会、お祭りなど楽しみも多い時期ですが長引くコロナ禍と今年は命に係るといって程の猛暑で外出も控える毎日です。そんな時ご家庭で楽しめる線香花火はいかがでしょう。線香花火は日本独自の手持ち花火で、江戸時代の1660年以降に子どもや女性が遊べる安全な花火として親しまれるようになったそうです。

線香花火の魅力は何といっても変化していく火花の様子。じつは点火してから燃え尽きるまでの段階に、

